

2023 年度 社会学科

小 論 文

〔自己推薦AO(A)〕 14-02

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

以下の文章は，社会における格差・不平等の生成メカニズムについての知見を与えてくれると思しき研究についてのエッセイです。これを読み，問いに答えなさい。

本文について、著作権許諾が得られていないため、掲載できません。

本文について、著作権許諾が得られていないため、掲載できません。

本文について、著作権許諾が得られていないため、掲載できません。

本文について、著作権許諾が得られていないため、掲載できません。

（出典：全卓樹『銀河の片隅で科学夜話』（朝日出版社，2020年）「第11夜 付和雷同の社会学」より冒頭部分と末尾の部分を省略して引用。論及されている論文は M. J. Salganik, P. S. Dodds and D. J. Watts, “Experimental study of inequality and unpredictability in

an artificial cultural market”, *Science* 311 (2006) 854-856.)

問い 下線部での夫人の皮肉に対して、思わず筆者は話をそらしてしまいましたが、あなたならどう答えますか。夫人に同感して、このような研究の意義に対して懐疑的な意見を述べても良いですし、逆に筆者がすべきであったはずの、このような研究をすることの意義について説明するのも良いでしょう。どちらにしても根拠を明らかにした上で、あなたなりの見解を提示してください。ただし、ただ単に科学研究の意義についての一般論を提示するのではなく、この研究の主題である、社会における不平等や、「付和雷同」の問題についても意識した上でお願いします。